

9月28日

テーマ：愚かな金持ち

聖書箇所：ルカの福音書12章13～21節

◆今日のみことば

自分のためにたくわえても、神の前に富まない者はこのとおりです。ルカの福音書12章21節

◆メッセージ

みんなが持っているものは、だれからもらったものでしょうか？大好きなおもちゃ、着ている洋服、食べ物、家、……。そのような必要なものは、そばにいるお父さん、お母さん、大人の人たちが、子どもたちに与えてくれているでしょう。でも、あなたのいのちは誰から与えられたのでしょうか。また、あなたのお父さんやお母さんのいのちは誰から与えられたのでしょうか。聖書は、私たちにいのちを与えてくださるお方が本当はどなたなのかを教えてください。



あるお金持ちの人が自分のために、たくさんの食べ物やお金や大切なものがいっぱいある大きな倉を作りました。自分で集めた食べ物、自分で建てた倉。全部自分のもの。この倉さえあればこれからはなんの心配もなく楽しく暮らしていけるとおもっていました。でも神さまは彼に言われました。「おろかも、お前は今夜死んでしまうのだ。そうしたらお前が集めた物は他の人のものになってしまうのだぞ。」

私たちは自分のいのちを長生きしたいからといっても、ずっと生きることはできません。いのちは、神さまが与えてくださったものです。この男の人は、そのことを忘れて、自分のいのちは自分のものだと思っていたのです。そして、実はこの男の人が持っている物も全て、神さまが与えてくださったのです。そのような神さまの恵みを忘れて、感謝する心も忘れて、自分勝手にただ好きなように生きていこうとする人は、神さまから「おろかも！」と言われてしまうのです。そして、そういう人生は、本当の幸せではないのです。

あなたが持っている物は、すべて神さまが与えてくださっているものです。何よりそのいのちを神さまが与えてくださいました。あなたのいのちや、あなたの持っている色々な物を、ひとりじめするようにして自分勝手に生きることを神さまは悲しまれます。このいのち、そしてたくさんのおものを神さまに「ありがとうございます！」と感謝しましょう。そんな神さまへの感謝の心で生きることこそ、本当の幸せな人生なのです。



◆お祈り

「神さまが、ぼく（わたし）にいのちやすべてのものをくださっていることをありがとうございます。」

(新発田キリスト教会伝道師 本間文)